

1 肝炎ウイルス 遺伝子検査検体出検方法

1 PCR専用検体として採血してください。



2 室温で30分間静置してください。



3 所定の条件で遠心分離してください。



4 栓を開けずに速やかに凍結保存してください。



《注意》

コンタミネーション防止のため、栓は開けないでください。
PCR専用として用い、他の検査のための分注は避けてください。

必ず遠心分離した後に凍結してください。

遠心分離後、血清分離剤の上に赤血球成分の残存が認められた場合は、血清の上澄部分を別の専用採血管に無菌的に移し替え、必ず凍結してご出検ください。

注) 検体中へのヘパリンの混入は、PCRの反応系に影響を及ぼしますので、透析患者さんでPCR検査をご依頼の際は、ヘパリン投与施行中の採血はお避けください。